取扱説明書

全自動食器洗い機
G 1142 SC

特定保守製品

お客様の安全を確保し、機器の損傷を避けるため、本製品を初めてご使用になる前には、**必ず**この取扱説明書をお読みください。

ja - JP

M.-Nr. 07 502 990

目次

目次

安全上のご注意

表示	表示の意味
警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が中程度の傷害を負う可能性、もしくは物的損害の発生が想定される内容を示します。

■ 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院・長期の通院を要するものを言います。

■ 中程度の傷害とは、治療に入院・長期の通院を要しないけが、やけど、感電などを指し、物的損害とは、財産の破損及び機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。

図記号の例	
	禁　止（してはいけないこと） 具体的な禁止内容は、図記号の中や文章で指示します。
	強　制（必ずすること） 具体的な強制内容は、図記号の中や文章で指示します。
	注　意（警告を含む） 具体的な注意内容は、図記号の中や文章で指示します。

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の方々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項をマークで表示しています。内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

	禁止行為		潜在的な危険・警告・注意
	分解禁止		感電注意
	水場、湿気の多い場所での使用禁止		機器に損害を与える可能性のある場合
	接触禁止		発火注意
	強制 / 指示		高温注意
	電源接続に関する注意		破裂注意
	必ずアース線を接続		

安全上のご注意

本食器洗い機の不適切な使用は、人体への危害および、物的損害の恐れがあります。本製品を初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お客様の安全を守り本製品の損傷も防ぐことができます。本取扱説明書は大切に保管し、製品を譲渡する場合は、必ず本書を添付してください。

⚠ 警　告

本製品は、関連するすべての法律上の安全要件を満たしています。ただし、本製品を不適切に使用した場合、人体への危害および物的損害をもたらすことがあります。

事故や製品の破損を防ぐために、本製品を初めてお使いになる前に、必ず取扱説明書をよくお読みください。本書には、本製品を正しく安全にお使いいただくための注意事項と、実際のご使用やお手入れに関する重要な情報が記載されています。

本書は大切に保管し、本製品を譲渡する場合は必ず本書を添付してください。

食器洗い機の正しい使用

本食器洗い機は、一般家庭用として、ご家庭の食器を洗浄する用途にのみご使用ください。
他の目的でのご使用や、本製品の改造や変更は許可されておらず、危険な場合があります。
規定に反した使用や間違った操作が原因で引き起こされた損害に対しては、製造者責任を負いかねます。

身体的・感覚的・精神的能力が十分ではない、使用経験がない、あるいは取扱方法の知識がないなどの理由で、本製品を安全に操作できない人が、保護責任者の監督または指示なく使用することはできません。

⚠ 警　告

お子様の安全

食器洗い機のそばにいるお子様から目を離さないように注意してください。
お子様を絶対に食器洗い機で遊ばせないようにしてください。お子様が食器洗い機の中に閉じ込められてしまう危険性があります。

機器の操作について説明を受けて、安全に取り扱うことができるお子様に限り、監督者不在時でも使用することができます。
お子様には誤操作によって生じる危険を知らせておくことが必要です。

洗剤は、お子様の手の届かないところに保管してください。食器洗い機用洗剤を飲み込んだ場合、口や喉に炎症を起こしたり、呼吸ができなくなることがあります。

ドアを開けているときは、お子様が食器洗い機に近づかないようにしてください。庫内に洗剤が残っている可能性があります。お子様が洗剤を飲み込んだり、吸い込んだ場合は、すみやかに医師に相談してください。

安全上のご注意

⚠ 警　告

機器の安全

本製品を設置する前に、目で見てわかる外傷がないかどうか確認してください。どのような状況においても、損傷した製品は使用しないでください。損傷した製品は、危険な場合があります。

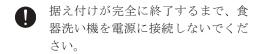
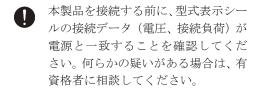
本食器洗い機は、アースコンタクト付き3ピンプラグを使って電源に接続してください（取外しできない固定接続は不可）。
電気コンセントは、設置した後でも簡単に手が届くところにあり、いつでも電源から切り離せるようにしてください。（「電気の接続」の項を参照）

食器洗い機の後ろに、電気機器のプラグが隠れないようにしてください。すき間が狭くなりすぎて、プラグが圧迫されることにより、過熱する恐れがあります（火災の危険）。

食器洗い機を、ガスレンジ・クッキングヒーターなどの調理レンジの下に取り付けないでください。レンジが発する高い放射熱により、食器洗い機が損傷を受ける可能性があります。
同様の理由から、「通常、調理場にはないような」熱を発する装置（火を使う暖房設備など）の横に食器洗い機を設置しないでください。

⚠ 警　告

据え付けが完全に終了するまで、食器洗い機を電源に接続しないでください。

本製品を接続する前に、型式表示シールの接続データ（電圧、接続負荷）が電源と一致することを確認してください。何らかの疑いがある場合は、有資格者に相談してください。

本製品には、単相200V 15A以上のアース付コンセントを、単独で使用してください。
本製品の電気系統についての安全が保証されるためには、有効な接地（アース）機構と本製品との間に導通が確保されていなければなりません。これは、製品を安全にお使いいただくための基本条件です。何らかの疑いがある場合は、有資格者に家屋内の電気配線システムの検査を依頼する必要があります。不適切な接地工事による問題（感電事故など）は、メーカーの保証対象外となります。

⚠ 警 告

本製品を不適切なコンセントや延長コードを使用して電源に接続しないでください。又、電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるい時は、本製品をご使用にならないでください。
このような接続では、過熱・感電・ショート・発火などの恐れがあります。本製品の安全性は保証されません。メーカーの保証対象外となります。
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。電源コードの損傷により、感電やショートによる発火を引き起こす可能性があります。

船舶などの移動するものに本製品を設置する場合、取付けおよび組立て作業を実施できるのは、専門業者または専門の技術者に限られています。ただし、本製品を安全に使用するための必要条件が、確認されていなければなりません。

給水用プラスチック製ケースには、電磁弁が含まれていますので、水につけないでください。

給水ホースには、電気の流れる導線が取り付けられているため、切って短くすることはできません。

⚠ 警 告

次の条件が満たされている場合、食器洗い機の防水システムが水による被害を防ぎます。

– 規定に従って設置されている。
– 何らかの不具合が生じた際、適切に食器洗い機の修理または部品の交換が行われている。
– 長い間使用しない場合（旅行の間など）、止水栓が閉められている。

防水システムは、食器洗い機のスイッチが切られていても機能します。ただし、本製品が電源に接続されている必要があります。

損傷した食器洗い機を使用すると、危険な場合があります。
食器洗い機が損傷したり、動かなくなった場合は、すぐにスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお求めの販売店もしくはミーレ・ジャパンのコールセンターまでご連絡ください。

無資格者による修理は非常に危険です。このような危険に対して、ミーレは責任を負いかねます。
修理は、ミーレ認定の専門技術者だけが行うことができます。
不適切な修理が、お客様に多大な危険をもたらすことがあります。

絶対に改造は行わないでください。火災や感電、ケガの原因となります。

安全上のご注意

警　告

食器洗い機のメンテナンスを行う場合は、食器洗い機を電源から切り離してから行います(食器洗い機のスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜きます)。

接続コードが損傷したら、ミーレのコールセンターまでご連絡ください。安全上の理由から、接続コードの交換作業は、ミーレ認定の指定サービスマンに限り許可されています。

部品の交換が行われる場合は、必ずミーレの純正部品を使用してください。純正部品以外の部品が使用された場合は、メーカーの保証対象外になります。

ゴキブリやその他の害虫が発生しやすい環境では、本製品とその周辺を清潔な状態に保つように特に注意が必要です。ゴキブリやその他の害虫による損傷は、本製品の保証対象外となります。

警　告

正しい設置

食器洗い機の設置および接続は、設置施工手順書に従って行ってください。

食器洗い機が正常に機能するには、水平に設置する必要があります。

安定性を確保するため、ビルトイン式の食器洗い機は、十分な固定がなされているカウンターの下に限り、設置することができます。

本製品の設置時や移動時などに、本製品を水に漬けたり、水をかけたりしないよう注意してください。感電の恐れがあります。

本製品には、井戸水は接続しないでください。井戸水に含まれる不純物が庫内で蓄積し、故障や汚れの原因となります。

⚠ 警　告

正しい使い方

食器洗い機内で溶剤を使用しないでください。爆発する恐れがあります。

粉末洗剤を吸い込んだり、飲み込まないよう注意してください。食器洗い機用洗剤を飲み込んだ場合、口や喉に炎症を起こしたり、呼吸ができなくなることがあります。
洗剤を吸い込んだり、飲み込んだりした場合には、すぐに医師に相談してください。

食器洗い機のドアを不用意に開けたままにしないよう注意してください。開いたドアにぶつかる場合があります。

開いたドアの上に寄りかかったり、座ったりしないでください。食器洗い機が傾いて、けがをしたり、機器が損傷する可能性があります。

市販の家庭用食器洗い機専用洗剤および乾燥仕上剤のみを使用してください。
台所用中性洗剤は使用しないでください。

産業用や工業用の洗剤を使用しないでください。機器の損傷や有害な化学反応が起きる危険性があります。

洗剤（液体洗剤も含む）を乾燥仕上剤投入口に入れないよう、ご注意ください。

洗剤が原因で乾燥仕上剤の容器が破損する恐れがあります。

⚠ 警　告

使い捨ての容器や小物類など、熱湯に弱いプラスチック製品を食器洗い機で洗わないでください。熱で変形することがあります。

運転をはじめて 10 分以上経過した後は、ドアを開けないでください。高温の湯気や洗浄水により、やけどをする恐れがあります。

運転中、又は運転終了後 30 分間は、絶対に庫内の洗浄層に触れないでください。やけどをする恐れがあります。

運転終了後の食器の取り出しや、フィルターのお手入れなどは、触れても安全な温度まで充分冷めた事を確認してから行ってください。やけどをする恐れがあります。

運転中は本体に衝撃を与えないでください。感電や漏電、ショートによる火災を引き起こす可能性があります。

火のついたローソク、蚊取り線香、タバコなどの火気や揮発性の引火物を近づけないでください。変形や火災の恐れがあります。

カトラリートレイにナイフなどをセットする場合は、ケガをしないよう、刀などの鋭利な側を下向きにしてセットしてください。

使い捨ての容器や小物類など、温水での洗浄に耐えられないプラスチック製品は、食器洗い機で洗わないでください。食器洗い機内の高温状態によって融けたり、変形することがあります。

安全上のご注意

⚠ 警　告

アクセサリー

本食器洗い機に使用するアクセサリー品は、必ずミーレの純正アクセサリーを使用してください。他社製アクセサリー品が使用された場合の損傷等については、メーカーの保証対象外となります。

安全上の注意および警告を無視したために生じた損害に対しては、製造者責任を負いかねます。

梱包材の廃棄処分

輸送時の梱包材および保護用の詰物には、廃棄する際に環境への影響が少ない材質が使用されており、リサイクルすることができます。

密閉フイルムやビニールシートなどの梱包材は、赤ちゃんや小さなお子様の手の届かないようにしてください。窒息する恐れがあります。

梱包材は、できるだけ早く廃棄するか、リサイクルしてください。

梱包材には下記の素材が使用されています。

外材：

- リサイクル素材 100%使用の段ボール
- ポリエチレン（PE）梱包材
- ポリプロピレン（PP）製の梱包材

中材：

- 塩素・フッ素を含まないポリスチレン（EPS）
- 底・蓋枠、補強用板は再生可能な森から採取した木材を使用しています。
- ポリエチレン（PE）製の保護ビニール

使用済み器具の廃棄処分

多くの電気機器や電子機器には、処理を誤ると、健康や環境に悪影響を及ぼす物質が含まれている場合があります。
ただし、このような物質は、機器が正しく機能するために不可欠のものです。
このため、不要になった機器は家庭ゴミとしては出さないでください。

地域のゴミ収集／リサイクルセンターで処分し、処分前の保管中にはお子様に危険が及ばないようにしてください。

不要になった電化製品や電子機器は、お住まいの自治体の指定する廃棄物処理施設に廃棄を依頼するか、販売店に相談してください。処分するまでの間、ご自宅で保管するときは、お子様に危険が及ばないように正しく管理してください。

使用済みの器具を処分する前には、有資格者がスイッチを切り、電源から外してください。

環境保護のために

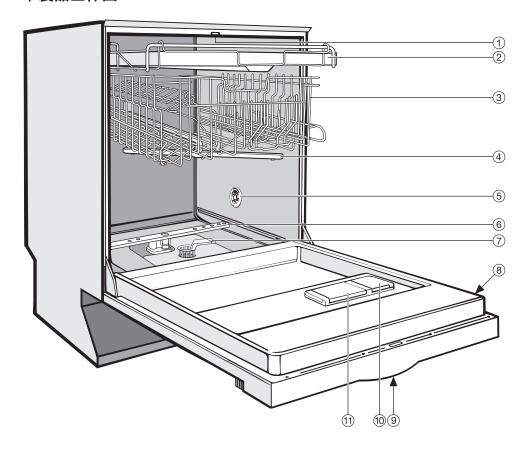
エネルギーを節約できる洗い方

本食器洗い機は、節水および節電効果の高い製品です。

以下に挙げたポイントに注意してご使用いただくと、製品の経済性を最大限に活かすことができます。

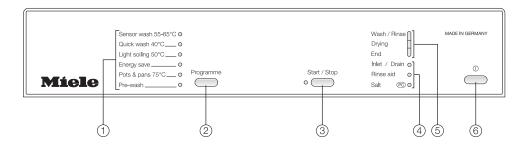
- この食器洗い機は、給湯に接続することができます（60 ℃以下）。例えば、循環ラインを備えたソーラーエネルギーなど、省エネルギータイプの温水装置との接続を行うと、エネルギーの節約につながります。
- バスケットを十分に活用して、つめ込み過ぎに注意してください。
- 洗う食器の種類と汚れの程度に応じて、最適なプログラムを選びます。
- エネルギーを節約して洗うには、「Energy save（エネルギーセーブ）」プログラムを選択します。
- 洗剤の投入量については、洗剤メーカーによる表示に従ってください。

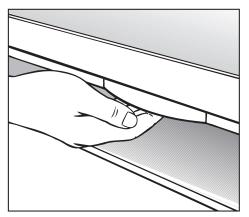
本製品全体図

※ 型式によって仕様は異なります。

① 上段スプレーアーム
② カトラリートレイ
③ 上段バスケット
④ 中段スプレーアーム
⑤ 乾燥時の給排気口※
⑥ 下段スプレーアーム
⑦ トリプルフィルター
⑧ 型式表示シール
⑨ チャイルドロック
⑩ 乾燥仕上剤投入口
⑪ 洗剤投入口

※ G 1142SC には搭載されておりません。

各部の名称

操作パネル

① プログラムランプ
②「Programme（プログラム選択）」スイッチ
③「Start/Stop」スイッチ（ランプ付き）
④ トラブルチェックランプ
⑤ プログラム進行表示ランプ
⑥ 電源スイッチ（ON/OFF）Ⓘ

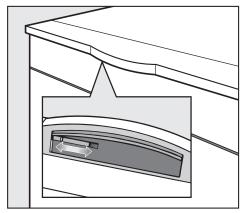
ドアの開け方

■ ドアの取っ手内側にあるレバーを上方向に押し上げて、ドアを手前に引きます。

運転中にドアを開けると、すべての機能が自動的に中断されます。

ドアの閉め方

■ バスケットを奥まで押し込みます。

■ ドアを上方向に持ち上げ、カチッと音がして所定の位置に収まるまで押します。

チャイルドロック

お子様が食器洗い機のドアを開くのを防ぐには、チャイルドロックを使ってドアをロックします。

■ ドアをロックするには、ドアの取っ手下のスライドを右にずらします。

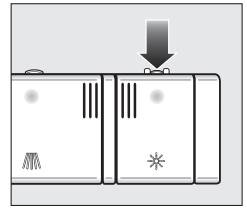
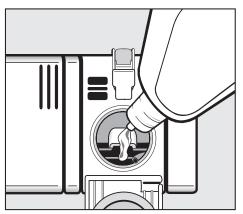
■ ドアのロックを解除するには、スライドを左にずらします。

乾燥仕上剤

乾燥仕上剤は、食器の水切れを良くし、水滴のあとが残るのを防ぐためにご使用されることをお勧めします。また、洗浄後の食器が速く乾く効果もあります。

乾燥仕上剤は、乾燥仕上剤容器がいっぱいになるまで注いでください。設定した量が運転ごとに自動的に投入されます。

家庭用食器洗い機用の乾燥仕上剤のみ容器に入れてください。粉末または液体の食器洗い機用洗剤を入れると、乾燥仕上剤容器の破損の原因となります。

乾燥仕上剤の補給

■ 乾燥仕上剤容器のフタの上にあるボタンを矢印の方向に押すと、カバーが開きます。

■ 乾燥仕上剤は、必ず開口部から見えるようになるまで補給します。

乾燥仕上剤容器の容量は、約 110 ml です。

■ カチッという音がして所定の位置に収まるまで、カバーをしっかりと閉めます。きちんと閉めないと、洗浄中に水が乾燥仕上剤容器に入ることがあります。

■ こぼれた場合は、乾燥仕上剤を拭き取ってください。次回プログラムを実行したときに、泡が立ちすぎるのを防ぐことができます。

乾燥仕上剤ランプ

「Rinse aid（乾燥仕上剤）」ランプが点灯した場合、乾燥仕上剤投入口にはプログラムを 2、3 回実行できる乾燥仕上剤しか残っていません。

■ 乾燥仕上剤は早めに補給してください。

乾燥仕上剤の投入量の設定

乾燥仕上剤の投入量を調整することができます。

乾燥仕上剤の投入量は、約 0 ～ 6 ml に設定できます。工場出荷時には、約 3 ml に設定されています。この設定をお勧めします。

食器に水滴のあとが残る場合は、乾燥仕上剤の投入量を増やしてください。

食器が曇ったり、庫内に泡が残った場合は、乾燥仕上剤の投入量を減らしてください。

設定の変更

■ 電源スイッチ（ON/OFF）Ⓘ を押して、食器洗い機のスイッチを切ります。

■ 「Start/Stop」スイッチを押し、**押したままで**、電源スイッチ（ON/OFF）Ⓘ を押して食器洗い機のスイッチを入れます。
「Start/Stop」ランプが点灯するまで、「Start/Stop」スイッチを少なくとも 4 秒間押したままにします。

ランプが点灯しない場合は、上記の手順をもう一度始めから実行します。

■ 「Programme（プログラム選択）」スイッチを 3 回押します。

一番下の Pre-wash ランプが、間隔をおいて短く 3 回点滅します。

そのあと、Wash/Rinse ランプが間隔をおいて 3 回短く点滅します。

これは約 3 ml の乾燥仕上剤の投入量に設定されていることを意味します。

Wash/Rinse ランプの点滅回数は設定されている乾燥仕上剤の投入量を表しています。（表参照）

乾燥仕上剤投入量（ml）	Wash/Rinse ランプ点滅回数
0	–
1	1 回
2	2 回
3	**3 回**
4	4 回
5	5 回
6	6 回

■ ご希望の乾燥仕上剤の投入量を選択するには、「Start/Stop」スイッチを押します。投入量はスイッチを押すごとに、レベルが 1 つ上がります。（「６」の次は「０」に戻ります）。

設定した乾燥仕上剤の投入量がメモリーに保存されます。

■ 電源スイッチ（ON/OFF）Ⓘ を押して、食器洗い機のスイッチを切ります。

注意点

食器をセットする前に、付着している残菜を落とします。

流水で汚れを洗い落とす必要はありません。

> ⚠ **食器洗い機では、灰、砂、ワックス、潤滑油、またはペンキで汚れたものを洗わないでください。これらを洗うと、食器洗い機が損傷します。**

食器類は、バスケット内のどの場所にも入れられますが、下記の注意事項をお守りください。

– 食器類や小物類を重ねた状態で入れないでください。

– 食器類は、洗浄効果を高めるために、水がすべての表面にあたるように入れてください。

– すべての食器が安定して置かれていることを確認してください。

– カップ、グラス、鍋など、くぼんだものは、バスケットにふせて入れてください。

– 深さのある食器は、水がしっかりと切れるような角度で置いてください。

– 食器や調理器具の高さが高すぎたり、バスケットの下からはみ出している食器によって、スプレーアームの動きが妨げられることがあります。きれいに洗浄出来なくなりますので、食器をセットする際は充分に注意してください。
場合によっては、スプレーアームを手で回して回転するかどうか確認してください。

– バスケットから小さなものが落ちないようにしてください。フタなどの小さなものは、カトラリートレイに入れてください。

> **人参、トマト、ケチャップなどに含まれる天然色素が付着した食器類を大量に入れた場合、プラスチック食器とプラスチック部品が変色する恐れがあります。**

食器の入れ方

洗ってはいけない食器類

– 木製または部分的に木が使用されている小物類や食器
変色する事があります。
さらに、接着剤がはがれて木製の柄などが外れてしまう場合があります。

– 陶芸品やアンティーク製品、高価な花瓶や装飾付きガラス製品
これらの製品は食器洗い機で洗えません。

– 耐熱性のないプラスチック製品
食器洗い機内の高温状態によって溶けたり、変形することがあります。

– 銅、真鍮、錫、アルミニウム製品
変色したり、つやがなくなったりすることがあります。

– 上絵付けを施した陶器
何度も洗っているうちに色あせしてきます。

– デリケートなガラス製品および鉛を含んだクリスタル製品
白濁する可能性があります。

– 土鍋

次のことをお勧めします。

– 食器洗い機に適応した食器および「食器洗い機対応」という表示のあるナイフやフォーク類をご購入ください。

– デリケートなガラス製品を洗う場合には、低温の洗浄プログラム（プログラム表を参照）、またはガラス製品専用プログラム（型式により異なります）で洗ってください。他のプログラムに比べ、曇りの発生が少なくなります。

– とくに高価なガラス製品は、手で洗うようにしてください。

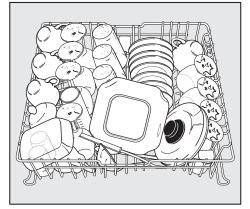
次の点にご注意ください。

銀製品用の磨き剤で磨かれた銀製品は、洗浄が終了した後も水気や水滴の跡が残ることがあります。これは、水切れが悪くなるためです。その場合は、布巾で水気を拭き取る必要があります。

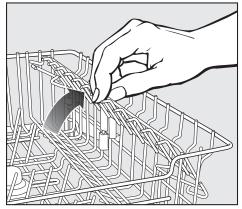
銀製品は硫黄を含む食品と接触すると、変色することがあります。こうした食品に該当するのは、卵黄、タマネギ、マヨネーズ、マスタード、豆類、魚、塩水漬けの魚、マリネなどです。

アルミニウム製品に、工業用または産業用の苛性アルカリを含む洗剤は使用できません。材質を傷め、極端な場合は、爆発のような化学反応（爆鳴気反応など）を起こす危険があります。洗剤に関しては「洗剤の入れ方」の項を参照。

上段バスケット

⚠ 安全上の理由から、上段および下段バスケットは必ず挿入した状態で洗浄を行ってください。

■ 上段バスケットは、ソーサー、カップ、グラス類、デザート皿など、小さくて軽く、デリケートな食器を並べます。
浅い鍋やキャセロール皿も上段バスケットに入れることができます。

■ スープレードル、ミキシングスプーンなど長さのあるものは、上段バスケットの手前側に横にして入れます。

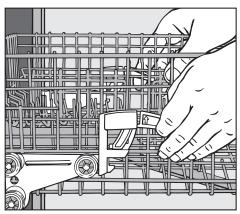
カップラック

■ 浅い鍋など大きい食器を入れるスペースを作るために、ラックを上方向に上げることができます。

食器の入れ方

上段バスケットの高さ調節

上段バスケットまたは下段バスケットに背の高い食器を入れるスペースを作るために、上段バスケットの高さを、約 2 cm の間隔で 3 段階に変更することができます。

水が凹所から流れやすくなるように、上段バスケットを傾ける（一方の側を高くし、他方の側を低くする）こともできます。ただし、食器洗い機内にバスケットをスムーズに挿入できることを確認してください。

■ 上段バスケットを引き出します。

上段バスケットを高くするには、

■ 左右のレバーを引き上げながら、カチッと音がして所定の位置に収まるまで、上段バスケットを引き上げます。

上段バスケットを低くするには、

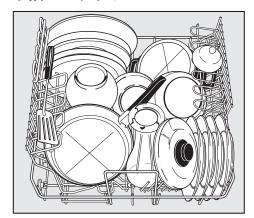
■ 上段バスケットの両側にあるレバーを引き上げます。

■ バスケットを希望の高さに調節し、レバーを所定の位置に戻るまでしっかり下げます。

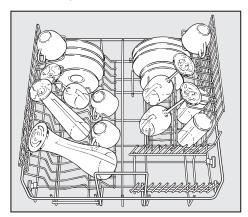
上段バスケットの設定位置に応じて、次のサイズの皿を入れることができます。

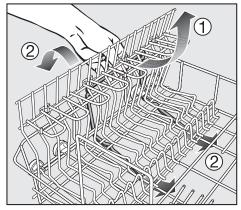
上段バスケットの位置	皿の直径（単位 φcm）	
	上段バスケット	下段バスケット
高	15	31
中	17	29
低	19	27

■ バスケットの高さは、中に食器を入れる前に調整するようにしてください。

下段バスケット

■ 皿、大皿、片手鍋、ボールなど、大きくて重いものを並べます。

着脱式プレートホルダー

着脱式プレートホルダーを、カップ、グラス類、皿、ボール、片手鍋などの洗浄に使用できます。

■ 背の高い食器が入れられるように、可倒式カップラックを上にあげます。

■ ワイングラス、シャンパングラス、コニャックグラスなどの脚付きグラス類は、可倒式カップラックの凹部に寄りかからせます。

取り外し方①：

■ 取っ手を引き上げて取り外します。

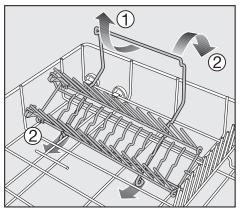
取り付け方②：

■ 着脱式プレートホルダーを下段バスケットの左側に合わせます。

■ 図のように、下段バスケットの縦ワイヤの下にフックを差し込み、着脱部をはめ込みます。

■ 所定の位置に収まるまで、ラックを押し下げます。

着脱式ピン

浅い鍋など大きい食器を入れるスペースを作るために、取り外すことができます。

取り外す①：

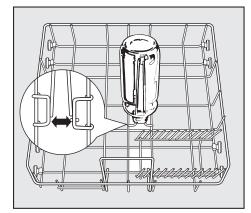
■ 取り外すには、取っ手を引き上げます。

取り付ける②：

■ 図のように、下段バスケットの縦ワイヤの下にフックをはめます。

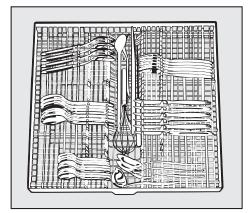
■ 所定の位置にしっかり収まるまで、取っ手を押し込みます。

ボトルホルダー（別売品）

ボトルホルダーは、牛乳瓶や哺乳瓶など細長い容器の洗浄に使用できます。

■ ボトルホルダーは下段バスケットの図に示された場所にセットします。（図の白い拡大部分を参照）

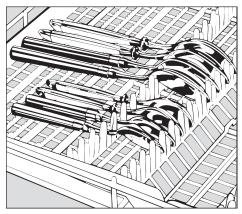
ボトルホルダーは、角にセットしないでください。角にセットすると、瓶の内側まで洗浄水が届かなくなり、瓶がよく洗えません。

カトラリートレイ

(形状は型式によって異なります)

■ 小物類は、図のようにトレイに並べてください。

ナイフ、フォーク、スプーンなどを分類して置くと、取り出すときに手早く片付けられます。

スプーンに水が残らないようにするため、スプーンはすくい取る部分をトレイの切り込み部分に置いてください。

高さのあるケーキサーバーなどが、上部スプレーアームの回転を妨げないようにしてください。

スプーンの柄が切り込みの間に収まらない場合は、反対に入れてください。

洗剤

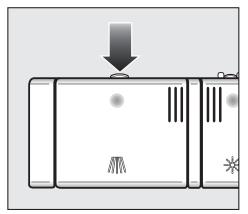
家庭用の食器洗い機専用の洗剤のみ使用してください。台所用洗剤は使用しないでください。

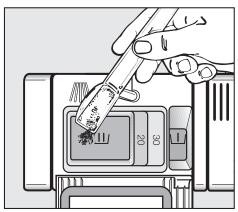
■ 粉末洗剤、タブレット洗剤、または液体の食器洗い機用洗剤を使用できます。洗剤の外装パッケージに記載されている使用量を参照してください。

■ 洗剤を洗剤投入口に入れます。

■「Quick wash」プログラムでは、タブレット洗剤は使用しないでください。洗剤の種類によっては、タブレットが十分に溶けない場合があります。

粉末洗剤を吸い込んだり、食器洗い機用洗剤を飲み込んだりしないでください。食器洗い機用洗剤には、刺激性のある成分が含まれている場合があります。飲み込んだ場合、鼻や口、喉に炎症を起こしたり、呼吸ができなくなることがあります。洗剤を飲み込んだり、吸い込んだ場合は、すみやかに医師に相談してください。洗剤などの家庭用化学薬品は、常にお子様の手の届かない場所に保管してください。食器洗い機のドアを開けているときは、お子様が食器洗い機に近づかないようにしてください。庫内に洗剤が残っている可能性があります。お子様が食器洗い機用洗剤に触れる危険を防ぐためには、プログラムを開始する直前に洗剤を入れ、ドアを閉めて、チャイルドロックをオンにします。

洗剤の入れ方

■ 洗剤投入口の開閉ボタンを矢印の方向に押すと、カバーが開きます。

※ プログラム終了後、カバーは開いた状態になっています。

■ 指定量の洗剤を投入口に入れ、カバーを閉じます。

投入量の目安

投入容器Iには最大10 mlの洗剤が入ります。

投入容器IIには最大50 mlの洗剤が入ります。

投入容器 II には投入量の目安として、20、30というマークがつけられています。これらのマークは、ドアが水平に開いている状態でのおおよその量を ml で示していますが、洗剤の適正使用量は洗剤の種類によって異なるため、お使いの洗剤の推奨使用量をご確認のうえ、投入してください。

本体の電源を入れる

- 全てのスプレーアーム（上段・中段・下段）が無理なく回転するかどうか確認します。
- ドアを閉めます。
- 止水栓が閉まっている場合は、開けます。
- ⏼ 電源スイッチ（ON/OFF）で食器洗い機の電源を入れます。

「Start/Stop」ランプが点滅し、最後に選択したプログラムの表示ランプが点灯します。

プログラムの選択

食器の種類と汚れの程度に応じて、プログラムを選択してください。

プログラムの種類と使い方の目安については、「プログラム一覧」で説明しています。

プログラム開始

- 「Programme（プログラム）」スイッチで、必要なプログラムを選択します。

選択したプログラムの表示ランプが点灯します。

- 「Start/Stop（スタート / ストップ）」スイッチを押します。

プログラムがスタートします。「Start/Stop」ランプ、「Wash/Rinse（洗浄・すすぎ）」ランプ、および選択したプログラムの表示ランプが点灯します。

プログラム進行表示ランプ

プログラムが始まると、プログラムの現在の行程がプログラム進行表示ランプで示されます。

プログラム終了

プログラムが終了すると、終了ランプが点灯します。

これで、食器洗い機を開けて、食器類を取り出すことができます（「食器の取り出し方」の項を参照)。

食器洗い機の上にある天板の縁が蒸気によって損傷するのを防ぐため、運転終了後もしばらくはドアを閉めたままにすることをお勧めします。または、短時間で蒸気を庫内から逃がし、食器類が取り出しても安全な温度になるまで十分冷めるよう、ドアをいっぱいに開けます。

ドアを細く開けたままで放置すると、蒸気が長時間天板等にあたり、損傷を与える恐れがあります。

また、長時間ドアを開けたままにすると、虫やほこりなどが入り込む可能性があります。

本体の電源を切る

プログラム終了後：

- 電源スイッチ（ON/OFF）Ⓘ を押して、食器洗い機のスイッチを切ります。

電源スイッチ（ON/OFF）Ⓘ を切るまで、食器洗い機は電力を消費し続けます。運転終了後は、お早めに電源スイッチをお切りください。

休暇などで食器洗い機を長い間使用しない場合は、安全のために止水栓を閉めてください。

食器の取り出し方

食器が熱いと、壊れたり欠けたりしやすくなります。取り出す前に、扱いやすくなるまで食器が冷めるのを待ちます。

電源を切った後にドアを全開にすると、食器はより速く冷めます。

- まず下段バスケットから取り出し、次に上段バスケットとカトラリートレイから取り出します。
  最初に下段から取り出すことで、上段バスケットとカトラリートレイの水滴が下段バスケットの食器に落ちるのを防ぐことができます。

操作

プログラムの中断

ドアを開くと、プログラムは中断されます。再びドアを閉めると、プログラムは数秒後に中断したところから続行されます。

**食器洗い機の水が高温の場合、火傷の危険があります。
そのため、もしドアを開ける場合は、慎重に行ってください。ドアを再び閉める前に、約 20 秒間ドアを半開きにします。これによって庫内の温度を補正し、気圧の膨張による水漏れなどを防ぐ事ができます。その後で、カチッとかみ合うまで、ドアをしっかりと押してください。**

プログラムの変更

洗剤容器のフタがすでに開いている場合は、プログラムの変更を行わないでください。

プログラムがすでに開始されている場合、以下の手順でプログラムを変更することができます。

■ 「Start/Stop」（スタート / ストップ）スイッチを最低 1 秒間押します。

プログラムが中断されます。

「Start/Stop」（スタート / ストップ）表示ランプが点滅します。

■ 必要なプログラムを選択し、開始します。

工場出荷時の初期設定

工場出荷時の初期設定から設定を変更した場合、次の手順にしたがって、工場出荷時の初期設定に戻すことができます。

■ 電源スイッチ（ON/OFF）Ⓘ を押して、食器洗い機のスイッチを切ります。

■ 「Start/Stop」スイッチを**押したままで**、電源スイッチ（ON/OFF）Ⓘ を押し、食器洗い機のスイッチを入れます。
「Start/Stop」ランプがつくまで、「Start/Stop」スイッチを押したままにします。

ランプがつかない場合は、手順をもう一度始めから実行します。

■ 「Programme（プログラム選択）」スイッチを 12 回押します。

一番下の「Pre-wash」プログラムランプが間隔をおいて長く 1 回、短く 2 回点滅します。

「Wash/Rinse」ランプは、工場出荷時の初期設定以外の設定になっているかどうかを示しています。

– 「Wash/Rinse」ランプが点滅している場合：すべての設定は、工場出荷時の初期設定です。

– 「Wash/Rinse」ランプがついていない場合：少なくとも 1 つの設定が変更されています。

■ すべて工場出荷時の初期設定に戻すには、「Start/Stop」スイッチを押します。

■ 電源スイッチ（ON/OFF）Ⓘ を押して、食器洗い機のスイッチを切ります。

掃除とお手入れ

食器洗い機は定期的にお手入れしてください。気になることがあれば、ミーレ・ジャパンのコールセンターまでお問い合わせください。

本食器洗い機の表面は、擦ったりぶつけたりすると傷がつく恐れがあります。お手入れの際は、道具や洗剤の成分などに注意してください。

庫内のクリーニング

庫内は、常に正しい量の洗剤が使用されていれば、自然にクリーニングされています。

ただし、カルキまたは油汚れの付着が見られた場合は、専用の食器洗い機用クリーナーやコンディショナーで落とすことができます。

ドア内側のゴムパッキンおよびドアのクリーニング

- ドア内側のゴムパッキンは、湿らせた布で定期的に拭き、付着した汚れを取り除きます。
- 食器洗い機に食器を入れると、残菜がドアの両サイドに付着することがあります。この部分には、スプレーの水が届きません。食器洗い機のドアを閉める前にこの部分の汚れをふき取ってください。

トリプルフィルターのクリーニング

庫内の底にあるフィルターは、洗浄水に含まれる大きなゴミやカスをろ過します。したがって、これらのゴミやカスは循環システムに入り込めないので、スプレーアームを介して、再び庫内に戻されるようなことはありません。

必ずフィルターを取り付けた状態で食器洗い機を運転してください。

食器洗い機正面のクリーニング

付着した汚れはすぐに落としてください。時間がたつと、汚れが落ちにくくなったり、変色する恐れがあります。

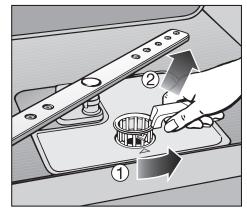
- 本製品正面は、濡らした柔らかいスポンジや、台所用中性洗剤を薄めたお湯に浸したスポンジなどで、やさしく拭いてください。最後は、柔らかく乾いた布で水気を拭き取ってください。

表面を傷つけないために、下記の使用は絶対にお止めください。

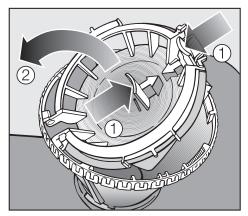
- 炭酸、アンモニア、酸や塩素を含む洗剤
- カルキ除去剤
- 研磨剤を含むクレンザー類
- 溶剤を含む洗剤
- ステンレス用洗剤
- 食洗機用洗剤
- ガラス用洗剤
- たわしなど、研磨作用のあるスポンジやブラシ類
- 金属製のスクレイパー

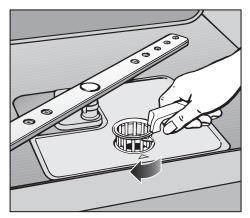
フィルターは、時間が経つとゴミやカスが溜まり、詰まることがあります。ゴミやカスが溜まるまでの時間は、使い方によって異なります。

定期的にフィルターの状態をチェックして、必要な場合はフィルターを掃除してください。

■ 食器洗い機のスイッチを切ります。

■ ハンドルを反時計回りに回して、フィルターを外します①。

■ フィルターを取り出し②、ゴミやカスを取り除き、フィルターを水でよく洗い流します。
必要があれば、ナイロンブラシを使用してください。

■ 取り外したフィルターの側面は、最も目の細かいマイクロフィルターです。洗剤や油分の結合物などで、目に見えない薄い膜がはることがありますので、定期的に柔らかいブラシでやさしく擦り洗いを行ってください。

トリプルフィルターの内側を掃除するには、カバーを開く必要があります。

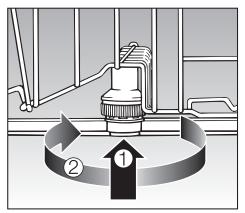
- 図に示しているように、矢印の方向につめを同時に押し①、カバーを開けます②。
- すべてのフィルターを流水ですすぎます。
- つめがかみ合うようにカバーを閉じます。
- カバーとフィルターをつなぐヒンジの部分は樹脂製です。引っ張ったり、過剰な負荷がかかると損傷する恐れがありますので、お手入れはやさしく行ってください。

- トリプルフィルターを庫内の底に水平になるように戻します。
- ハンドルを時計回りに回して、フィルターを所定の位置にロックします。

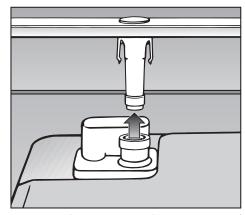
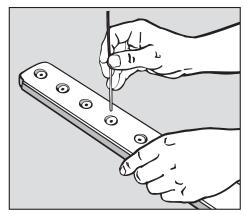
トリプルフィルターは、必ず所定の位置に正しく固定してください。適切に取り付けられていない場合は、大きなゴミやカスが循環システムに入り、詰まってしまう可能性があります。

スプレーアームのクリーニング

スプレーアームのノズルや軸受けに、カルキや残菜の一部がつまることがあります。そのため、定期的（約 4 ～ 6ヵ月ごと）にスプレーアームを点検してください。

■ 食器洗い機のスイッチを切ります。

以下の手順で、スプレーアームを取り外します。

■ **中段**スプレーアームを押し上げ①、ネジにかみ合わせて、スプレーアームを回して外します②。

■ 下段バスケットを引き出します。

■ **下段**スプレーアームを強く上に引き上げて取り外します。

■ 先のとがったものでノズルに詰まっている食べ物のカスをスプレーアームの中に押し入れ、水でよく洗い流します。

■ スプレーアームを元に戻し、問題なく回転するかどうか点検します。

こんなとき、どうしたらいい？

本製品をご使用頂くにあたって、トラブルが生じた場合は、以下のトラブルシューティングガイドを参考にして対応してください。小さな問題は、簡単に解決していただけます。ただし、下記の注意点には十分ご留意ください。対応後も正常に機能しない場合や、判断が難しい場合は、ミーレ・ジャパンコールセンターまで、お気軽にお問い合わせください。

修理は、訓練を受けた技術者が行わなければなりません。お客様御自身による修理や不適切な修理は、事故や機械の損傷を引き起こす可能性があります。

トラブルシューティングガイド		
問題	**考えられる原因**	**対応策**
電源スイッチ（ON/OFF）ⓘを押して食器洗い機の電源を入れても、「Start/Stop」ランプが点滅しない。	本製品の電源プラグが入っていません。	プラグを差し込み、電源を入れます。
「Wash/Rinse」、「Drying」および終了ランプが同時に点滅する。	技術的な障害が発生している可能性があります。	─「メンテナンス」の記載に従って、排水ポンプ、逆止弁を掃除します。掃除しても問題が解決しない場合は下記の通りにしてください。 ─ 電源スイッチ（ON/OFF）ⓘを押して、食器洗い機のスイッチを切ります。 数秒間待った後、 ─ 食器洗い機のスイッチを再度入れます。 ─ プログラム選択スイッチを使用して、プログラムを選択します。 ─「Start/Stop」スイッチを押します。 またプログラム進行表示ランプが同時に点滅する場合は、技術的な障害が発生しています。 ─ ミーレのコールセンターにご連絡ください。
ドアが開いているときにも排水ポンプが作動する。	防水システムが反応しました。	─ 止水栓を閉めます。 ─ ミーレのコールセンターにご連絡ください。

食器洗い機の給水 / 排水が行われない		
問題	**考えられる原因**	**対応策**
「Inlet/Drain」ランプが点滅する。	止水栓が閉まっています。	止水栓を完全に開いてください。
プログラムの実行中に食器洗い機が停止する。「Inlet/Drain」ランプが点滅する。		問題の解決に取りかかる前に、必ず、 ー 電源スイッチ（ON/OFF）Ⓘ を押して、食器洗い機のスイッチを切ります。
	給水が制限されています。	ー 止水栓を完全に開きます。 ー 取水口の水圧が 100kPa（1.0 バール）よりも低くなって います。取り付け設置業者にご相談ください。
	排水が制限されています。プログラムの終了時に水が庫内に残ります。	ー トリプルフィルターを掃除します。「掃除とお手入れ」の項を参照。 ー 排水ポンプを掃除します。「メンテナンス」を参照。 ー 逆止弁を掃除します。「メンテナンス」の項を参照。 ー 排水ホースのよじれを直します。

こんなとき、どうしたらいい？

一般的な問題		
問題	**考えられる原因**	**対応策**
プログラムの終了時に洗剤のカスが投入口に残っている。	洗剤を入れたときに投入口が湿っていました。	洗剤を入れる前に投入口が乾いていることを確認します。
洗剤カバーをきちんと閉められない。	洗剤のカスがつまって、開閉ボタンが引っかからなくなっています。	開閉ボタンの洗剤を取り除きます。
プログラムの終了時に、ドアの内側および庫内の壁に水蒸気の膜がついている。	これは余熱乾燥システムによるもので、故障ではありません。	水蒸気は、しばらくすると消えます。 乾燥仕上剤をお使いでない場合は、ご使用をお勧めいたします。
プログラムの終了時に庫内に水が残っている。		問題の解決に取りかかる前に、必ず、 – 電源スイッチ（ON/OFF）Ⓘ を押して、食器洗い機のスイッチを切ります。
	トリプルフィルターが詰まっています。	フィルターを掃除します。 「掃除とお手入れ」の項を参照。
	排水ポンプまたは逆止弁が詰まっている可能性があります。	排水ポンプまたは逆止弁を掃除します。 「メンテナンス」の項を参照。
	排水ホースがよじれています。	排水ホースのよじれを直します。

使用中の音		
問題	考えられる原因	対応策
庫内でなにかに当たる音がする。	スプレーアームがバスケット内の食器に当たっています。	プログラムを中断し､スプレーアームにあたっている食器を入れ直します。
庫内でガタガタと音がする。	食器類が庫内で安定してセットされていません。	プログラムを中断し､食器を入れ直します。
給水管でなにかに当たる音がする。	これは､設置場所や配管の交差が原因で起きる場合があります。	食器洗い機の機能には影響しません。設備の点検を希望される場合は､適正な資格のある水道工事事業者に相談してください。

こんなとき、どうしたらいい？

食器がきれいにならない		
問題	**考えられる原因**	**対応策**
皿類がきれいにならない	皿類が正しく入れられていません。	「食器の入れ方」の項を参照。
	プログラムの選択が不適切でした。	より強力なプログラムを選択します。「プログラム表」の項を参照。
	洗剤の量が足りていません。	洗剤の量を増やすか、または洗剤を変えてください。
	食器類がスプレーアームの動きを妨げています。	食器類を入れ直して、スプレーアームが自由に回転するようにします。
	トリプルフィルターが汚れているか、または正しく取り付けられていません。このため、スプレーアームの噴水口がつまることがあります。	トリプルフィルターを掃除するか、または正しく取り付けます。あるいは両方を行います。スプレーアームの噴水口を掃除します。「掃除とお手入れ」の項を参照。
	逆止弁が開かれ、つまっています。このため、汚れた水が庫内に逆流しました。	排水ポンプおよび逆止弁を掃除します。「メンテナンスー排水ポンプと逆止弁のクリーニング」を参照。
ガラス食器および小物類に染みができていて、ガラス食器の表面が青みを帯びて光っている。膜は拭き取ることができる。	乾燥仕上剤の設定投入量が多すぎます。	投入量を減らします。「初めてお使いになる前にー乾燥仕上剤」の項を参照。

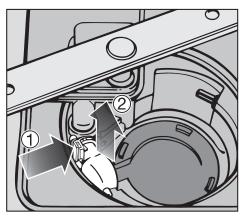
問題	考えられる原因	対応策
皿類、小物類、グラス類が乾いていないか、または乾き具合がまだらになっている。	乾燥仕上剤の量が不十分か、または乾燥仕上剤容器が空です。	乾燥仕上げ剤を容器に補給します。 投入量を増やします。 「初めてお使いになる前に」の項を参照。
	食器類を庫内から出したのが早すぎました。	食器が熱いうちに戻し、しばらく庫内に入れたままにします。 「操作」の項を参照。
小物類や食器類に白いカスが残る。ガラス食器が曇る。膜は拭き取ることができる。	乾燥仕上剤の量が足りませんでした。	投入量を増やします。 「初めてお使いになる前に」の項を参照。
ガラス食器が茶色または青色がかり、膜を拭き取ることができない。	洗剤が原因と考えられます。	洗剤を変えます。
ガラス食器の光沢がなくなり、変色している。膜を拭き取ることができない。	そのガラス食器は、食器洗い機で洗えません（表面が冒されています）。	対応策はありません。 食器洗い機で洗えるガラス食器を購入してください。
紅茶や口紅の染みが完全に落ちていない。	選択したプログラムの洗浄温度が低すぎます。	洗浄温度の高いプログラムを選択します。
	口紅類は食器洗い機の洗浄では落ちない場合があります。	スポンジなどで軽く落としてから、食器洗い機で洗浄してください。
プラスチック製品が変色した。	人参、トマト、ケチャップなどの天然色素が原因となることがあります。使用した洗剤の量、またはその洗剤の漂白効果が天然色素に対して不十分でした。	洗剤の使用量を増やします。 「操作」の項を参照。 変色を元に戻すことはできません。
小物類にさびの染みがついている	さびが出た小物類は、食器洗い機で洗浄することができません。	対応策はありません。 食器洗い機で洗える小物類を購入してください。

排水ポンプと逆止弁のクリーニング

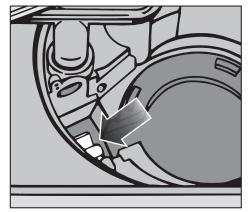
プログラムが終わっても、庫内の水が抜けない場合は、排水ポンプと逆止弁が詰まっている可能性があります。これは、簡単に取り除くことができます。

■ 食器洗い機の電源スイッチを切り、その後で電源プラグを引き抜きます。

■ 庫内からトリプルフィルターを取り外します (「掃除とお手入れ－フィルターのクリーニング」の項を参照)。

■ 小さな容器を使って、庫内に残っている水を汲み出します。

■ 逆止弁のロックを内側へ押します①。

■ 逆止弁を上方へ取り外し②、流水できれいに洗います。

■ 逆止弁に付着しているすべての異物を取り除きます。

排水ポンプは逆止弁の下に取り付けられています（矢印)。

■ 排水ポンプからすべての付着物を取り除きます（ガラスや骨の破片は、とくに見えにくく、怪我の恐れがあるのでご注意ください）。排水ポンプの羽根を手で回し、他に異物がないことを確認します。

■ 逆止弁を慎重に元に戻し、ロックをかけて固定します。

ロックは、必ずかみ合わせてください。

プログラム一覧

プログラム	使い方の目安
Sensor wash 55-65 ℃ （センサーウォッシュ 55-65 ℃）	**普通の汚れ**の食器類用センサー制御プログラム
Quick wash 40 ℃ （クイックウォッシュ 40 ℃）	パーティ用食器など**軽い汚れ**の食器類用「クイックプログラム」 Glass care 対応 タブレット洗剤には不適切
Light Soiling 50 ℃ （ライトソイリング 50 ℃）	汚れが乾いてこびりついていない、**軽い汚れから普通の汚れ**の食器類用の、洗剤時間が短いプログラム Glass care 対応
Energy save [1)] （エネルギーセーブ）	乾いてこびりついていない、**普通の汚れ**の食器類用の、低温水を使用し、実行時間の長い省エネルギープログラム Glass care 対応
Pots & pans 75 ℃ （ポット＆パン 75 ℃）	**乾いてこびりついた、ひどい汚れと普通の汚れの深鍋、平鍋、盛り皿**用のプログラム 推奨量より洗剤を 20% 多くして使用
Pre-wash （予備洗い）	プログラムの全過程は必要ないが、食器に臭いがつくのを防ぐためのプログラム

1） エネルギーラベルの数値計測に使用される、標準プログラム

工程					消費量			時間 [2]	
					電力		水		
予備洗い	本洗い温度 ℃	すすぎ 1 2	最終すすぎ温度 ℃	乾燥	水道水との接続（15 ℃の場合）kWh	給湯との接続（55 ℃の場合）kWh	リットル	水道水との接続（15 ℃の場合）時間：分	給湯との接続（55 ℃の場合）時間：分
必要に応じて	55-65	必要に応じて	70	×	1.35-1.70	0.75-1.10	14-23	1:55-2:40	1:45-2:26
	40	×	45	×	0.70	0.22	14	0:38	0:30
	50	×	70	×	1.35	1.00	14	1:42	1:30
	45	×	60	×	1.10	0.75	14	2:59	2:49
×	75	×	70	×	1.80	1.30	19	2:49	2:39
×					0.02	0.02	6	0:12	0:12

[2] 上記値は EN 50242 に従って算出したものです。各状況や汚れの度合いによって結果は異なります。

電源接続

この食器洗い機は、アース付きコンセントにプラグを接続する仕様になっています。

食器洗い機を設置した後でも、簡単に手が届くところにコンセントを設置してください。
安全上の理由から、延長コードは使用しないでください（過熱による火災の危険等があります）。

電源コードやコンセントに損傷が見られる場合は、お求め頂いた販売店またはコールセンターまでご連絡ください。

ご家庭にある電源の電圧、周波数およびブレーカーの詳細が型式表示シールの表示と一致していること、また、設置されているコンセントが食器洗い機のプラグの形状と一致していることを確認してください。

技術データは、ドアの右側の型式表示シールに記載されています。

給水

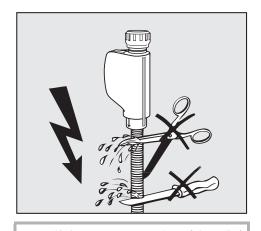
ウォータープルーフ・システム

機器の接続が適切に行われていれば、万が一水漏れが起きた場合でも、ミーレのウォータープルーフシステムによって、周辺設備へのダメージを防ぐことができます。

食器洗い機内の水は、飲まないでください。

– 食器洗い機は、水道または60° C以下の給湯に接続できます。

– 水圧（接続部での流れの圧力）は、100 〜 1000kPa （1.0 〜 10bar）の間でなければなりません。
水圧が高すぎる場合は、減圧弁を取り付ける必要があります。

機器の損傷を防ぐため、完全にエア抜きされた配管にのみ食器洗い機を接続してください。

給水ホースには、電気の流れる導線が取り付けられています。そのため、給水ホースを短くしたり、傷つけたりしないようにご注意ください（図を参照）。

給水・排水の接続

排水

– 本製品の排水システムには逆止弁が装備されているため、汚水が排水ホースから食器洗い機内へ逆流することはありません。

– 食器洗い機には、約 1.5 m のフレキシブルな排水ホースが付いています。排水ホースの内径は 22 mm です。

– 排水ホースは、ホースを長くする接続部品を使用して延長できます。この場合は、排水ホースを 4 m 以上にしないでください。排水ポンプの最大よう程は 1 m です。

– ホースを設置場所の排水システムに接続する場合は、付属のホースクリップを使用してください。

– ホースは、本製品の左と右のどちらにも誘導することができます。

– 排水ホースは切って短くしないでください。故障の原因になります。

ホースがよじれていないことを確認してください。また、押しつぶされたり、引っ張られていないことを確認してください。

仕様

モデル :	**G 1142 SC**
外形寸法	W 598 × D 571 × H 805 ~ 870 mm
ビルトイン開口寸法	W 598 × D 580 × H 810 ~ 870 mm
重量	最大 65 kg
電圧	ドアの右側の型式表示シールを参照してください。
接続負荷	
ヒューズ定格	
作動給水圧	100 〜 1000 kPa（1.0 〜 10 バール）
給湯との接続	最大 60 ℃
排水ヘッド	最大 1 m
排水ホースの長さ	最大 4 m
電源コード	約 1.7 m
洗浄容量	10 人分（JEMA 規格）① 12 人分（IEC 規格）②
庫内容積	160L

① （社）日本電機工業会（JEMA)、食器洗い乾燥機に関する自主基準に準ずる。
一人分の食器点数と基本食器類は以下のとおりとする。基本 4 点（大皿、茶碗、汁碗、コップ）＋ 2 点（中鉢、中皿）＋小物（箸、スプーン、ナイフ、フォーク）

② IEC: 国際電気標準会議 （International Electrotechnical Commission）（欧州においては、平たい皿類を中心とした食器を用いた国際基準を使用しています）

アフターサービス、型式表示シール

故障が生じた場合や、本製品が保証期間中の場合は、下記にお問い合わせください。

－ ミーレ販売代理店

－ ミーレ・ジャパンのコールセンター（裏表紙を参照）

コールセンターにお問い合わせになる場合、型式表示シールに記載された、ご使用の機器の型番と製造番号をお知らせください。

愛情点検

長年ご使用の食器洗い機の点検を!

ご使用の際、
このようなことはありませんか

- ●スイッチを入れてもときどき運転しない時がある
- ●運転中に異常な音や振動がする
- ●本体ケースが変形していたり、異常に熱い
- ●食器洗い機にさわるとビリビリ電気を感じる
- ●その他の異常や故障がある

● 使用を中止してください ●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がございますので、絶対になさらないでください。

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

ミーレ・ジャパン株式会社
コールセンター 0120-310-229（ユーザー専用・月ー金 9:00-17:30）
〒150-0044 東京都渋谷区円山町3-6 E・スペースタワー11F（本社）1F（ショールーム）
www.miele.co.jp

M.-Nr. 07 502 990 / 00